

2022年度第2回8月東大本番レベル模試 地理 採点基準

■ 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

■ 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

■ 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。
- ② 下線の付け忘れは1問につき1点減点。
- ③ 指定用語不使用は，指定用語1つにつき1点減点。  
(解答中のどこかで使用していればよい。  
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは1点減点。

\*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

■ 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

■ 設問別加点基準

- 1) \_\_\_\_\_ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1 点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば1 点加点する。

第 1 問 (20 点)

設問 A

(1) 1 点 (完答)

ア－c    イ－b    ウ－a

(2) 2 点

西側ほど海からの偏西風の影響が強く、気温の年較差が小さい。(1 行)

【加点ポイント】(※(1)の正否を問わない)

- ① (気温の差異) 気温の年較差が西側ほど小さい／気温の年較差が東側ほど大きい  
／海に近いほど気温の年較差が大きい／海から遠いほど気温の年較差が大きい→1 点
- ② (①を強める要因) 偏西風 →1 点

(3) 4 点

P は、氷食や、低温・湿潤による泥炭化が生んだ荒れ地が広がり、Q は隔海度の高い大陸性気候のもとで、乾燥しており草原が多い。(2 行)

【加点ポイント】

- ① (P は) 氷食を受けた／泥炭化した土地が多い／低平で湿地が広がる →2 点
- ② (Q は) 乾燥している／降水量が少ない／ステップ気候が卓越する →1 点
- ③ (②の理由) 隔海度が高い／大陸性気候である →1 点

(4) 3 点

レスを母材とし、草原の枯れ草の腐植が低温・少雨のために無機化・流出を免れて厚く堆積した、肥沃な黒色土が広がっている。(2 行)

【加点ポイント】

- ① (土壌の特徴) 「肥沃な／腐植の多い」＋「黒色土／黒土／チェルノーゼム」が広がる →1 点
- ② (①の成因) ・レスを母材とする／氷成レスが土台となった  
・草原の枯れ草／大量の枯れ草 から成る  
・少雨のため腐植が流出しない } 1 つ 1 点 2 点まで

設問 B

(1) 1 点

G N S S などの人工衛星を利用した観測技術 (※字数制限なし・簡潔に・句点不問)

【加点ポイント】

① (利用技術として) 人工衛星／重力観測衛星 →1 点

(2) 4 点

内陸では山岳, 沿岸ではフィヨルドが鉄道建設の障害となるうえ, 冬季には大量の積雪があるため, 建設・保守コストが高くなる。(2 行)

【加点ポイント】

① (地形的要因) 山地が多い／古期造山帯に属する／平地が少ない →1 点

② (地形的要因) フィヨルドが多い／海岸線が複雑に入り組む →1 点

③ (気候的要因) 積雪が多い／地形的降雪が多い →1 点

④ (①～③により) 建設コストが高い／保守コストが高い／冬季に不通になることが多い →1 点

(3) 5 点 ※ [指定語句] 海外 高緯度 楯状地 3 つ全て 下線付きで使用

鉄資源の豊富な楯状地に位置するスウェーデン国内の鉱山で産する鉄鉱石を, 冬季に凍結するルレオを避け, 暖流の影響で高緯度の割に温暖な不凍港ナルヴィクに鉄道輸送して海外に輸出するため。(3 行)

【加点ポイント】

① (鉄道建設の目的) 「鉄鉱石」を「海外への輸出港に運ぶ」ため →1 点

(※「鉄鉱石」を鉄道で運び, 「海外に」輸出することが文中で読み取れば加点する)

② (①の鉄鉱石は) 「スウェーデン」の「楯状地で採掘された／楯状地に鉄鉱石が分布」 →1 点

③ (ナルヴィクの特徴) 高緯度の割に温暖／高緯度だが不凍港 →1 点

④ (④の要因) 暖流／北大西洋海流 の影響 →1 点

⑤ (ルレオの特徴) 冬季に凍結する／夏季のみ港として利用 →1 点

第2問 (20点)

設問A

(1) 2点

a - 菜種 b - さとうきび / サトウキビ c - とうもろこし / トウモロコシ d - パーム油

※4個正解 → 2点 1~3個正解 → 1点 0個正解 → 0点

(2) 3点 ※ [指定語句] 工業地域 樹木 湖 3つ全て 下線付きで使用

工業地域から発生した硫黄酸化物が拡散して広範囲に酸性雨が降り、国の内外で樹木の枯死や湖の生態系の破壊等の被害が生じた。(2行)

【加点ポイント】

- ① (かつて経験した問題) 酸性雨 → 1点
- ② (①の要因) 工業地域から発生した硫黄酸化物 / 工業地域から排出された SO<sub>x</sub> や NO<sub>x</sub> → 1点
- ③ (①の影響) 樹木の枯死 / 湖の生態系の破壊 / 湖の魚の減少 → 1点

(3) 3点

採油工場の併設された大規模なアブラヤシ農園の開発が行われ、草木や泥炭地に大量の炭素を固定してきた熱帯林の破壊が進んだ。(2行)

【加点ポイント】

- ① (温暖化の理由) 熱帯林の破壊 / 森林破壊 → 1点
- ② (①の背景) 大規模なアブラヤシ農園の開発 / 採油工場も含めた農園開発 → 1点
- ③ (①の温暖化への影響) ・ 二酸化炭素を吸収する森林の減少  
・ 森林伐採の際の火入れによる二酸化炭素の増加  
・ 森林伐採後の泥炭地からのメタンの放出 } いずれかで 1点

(4) 3点

土壌のやせた高冷地で農耕に向かず、薪を得る森林も発達しないが、ヤクを飼育してその乳と肉を食用とし、糞を燃料としてきた。(2行)

【加点ポイント】

- ① (伝統的生業) 「ヤク / 羊 / ヤギ」の「飼育 / 牧畜 / 遊牧」 → 1点
- ② (食料について) 「土壌がやせている / 冷涼」で「農耕に向かない / 穀物生産できない」 } 両方で
- ③ (燃料について) 森林が発達しない / 薪を採る樹木が少ない } 1点
- ④ (①により) 「肉 (乳) を食料」として「糞を燃料」とする → 1点

設問 B

(1) 1 点 (完答)

X－石炭 Y－石油 Z－天然ガス

(2) 4 点 ※ [指定語句] 高騰 依存 中東 3 つ全て 下線付きで使用

中東の産油国による輸出制限で石油危機と呼ばれる原油価格の高騰が起き、中東に依存するエネルギー供給体制を改める必要が生じた。ゆえに中東以外にも産地が多い天然ガスの輸入が増やされた。(3 行)

【加点ポイント】

★(1)を正解していることが加点の前提

① (Y低下の契機) 石油危機／オイルショック／石油ショック →1 点

② (①の影響) 原油 (石油) 価格の高騰／原油の輸入制限による物価高騰  
／物価高騰による経済の混乱 →1 点

③ (①への対策) 中東に依存するエネルギー供給体制を改める  
／エネルギーを原油に依存しすぎないようにする  
／エネルギーの輸入先の多角化を図る →1 点

④ (Zの利点) 中東以外にも産地が多い／石油ほど偏在しない →1 点

(3) 2 点

福島第一原子力発電所の事故後、原子力代替の需要が高まった。(1 行)

【加点ポイント】

① 福島第一原子力発電所の事故／東日本大震災 →1 点

② (①により) 原子力代替の需要が高まった／火力発電が増えた →1 点

(4) 2 点

食生活が洋風化し、国産飼料より安価な輸入飼料で生産した肉類、輸入小麦の加工食品、外国産の油脂や肉類の供給量が増えた。(2 行)

【加点ポイント】

① ・ 輸入飼料で生産した肉類 の供給量が増えた  
・ 輸入小麦／輸入小麦の加工食品 の供給量が増えた  
・ 外国産の油脂 (オリーブ油／パーム油) ／外国産の肉類 の供給量が増えた  
・ かつては国産米による熱量供給の割合が大きかった

} 1 つ 1 点  
2 点まで

第3問 (20点)

設問A

(1) 1点 (完答)

アー暴風雨 イー地震・津波 ウー熱波 エー斜面災害

(2) 3点

防潮堤の整備や土地のかさ上げなどの高潮対策と、災害対策基本法制定や台風進路予想の精度向上などの防災体制が整備された。(2行)

【加点ポイント】

★(1)で「アー暴風雨」を正解していることが加点の前提

- ① (ハード面の対策) 防潮堤 (堤防) の整備 / 土地のかさ上げ →1点
- ② (ソフト面の対策等) ・災害対策基本法制定 / 防災計画の策定 / 防災行政の整備 } 1つ1点
- ・台風進路予想 (天気予報) の精度向上
- ・テレビの普及による防災 (天気) 情報の周知拡大 } 2点まで

(3) 3点

地球温暖化の影響によって夏の異常高温が頻発するうえ、高齢化の進行で体温調節機能が低く熱ストレスに弱い高齢者が増加した。(2行)

【加点ポイント】

★(1)で「ウー熱波」を正解していることが加点の前提

- ① (自然的背景) 「地球温暖化」により「夏の異常高温が頻発 / 夏の気温上昇」  
→1点
  - ② (社会的背景) 高齢化の進行 / 高齢者の増加 →1点
  - ③ (②の影響) 高齢者は体温調節機能が低い / 高齢者は熱ストレスに弱い  
/ 高齢者は熱中症になりやすい →1点
- (※「ヒートアイランド現象で熱帯夜の増加」などとした場合は②で1点加点)

(4) 3点

日本では台風・梅雨に伴う豪雨が頻発するうえ、山がちな変動帯に位置し、都市化の進行で災害に脆弱な傾斜地にも居住者が多い。(2行)

【加点ポイント】

- ① (自然的背景) 台風 / 梅雨 の影響を受ける →1点
- ② (自然的背景) 山がちである / 平地が少ない / 変動帯に位置する / 地震が多い  
/ 地質的に脆弱な場所が多い →1点
- ③ (社会的背景) 都市化の進行で傾斜地にも居住者が多い / 人口密度が高い →1点

設問B

(1) 1点 (完答)

ア-メトロポリス イ-スプロール

(2) 4点 ※ [指定語句] 子育て 住環境 労働力 3つ全て 下線付きで使用

就業機会の豊富な東京都に、農村から大量の若年労働力が流入したが、彼らが婚姻や子育てを契機に住宅を購入するため、住宅費が高い上に住環境の悪化した東京都から、郊外の埼玉県に転出した。(3行)

【加点ポイント】

① (東京都転入について) 大量の若年労働力が流入した／集団就職で東京に若者が流入した →1点

② (②の理由) 東京都は就業機会が豊富／東京は工業化(都市化)が進んだ

／東京には様々な工業や商店が集中した／農村は余剰労働力を抱えていた

／東京は産業が発展し人手不足であった

→1点

③ (埼玉県転出について) ・婚姻や子育てを契機に埼玉県に転出した

・東京都は地価(住宅費)が高い／埼玉県は地価(住宅費)が安い  
／埼玉県に安価な住宅地が開発された

・東京都は住環境が悪化した／埼玉県は住環境がよい

／埼玉県は子育てに適した住環境が多い

1つ1点  
2点まで

(3) 3点

低平な水田に建設された集合住宅団地Aの住民は鉄道を、丘陵地に開発された戸建て住宅団地Bの住民は自動車やバスを用いる。(2行)

【加点ポイント】

① (地形条件) 「Aは 平地／水田」で「Bは 丘陵地／高台」 →1点

② (住宅の種別) 「Aは 集合住宅／アパート／マンション」で「Bは 戸建て」 →1点

③ (通勤手段) 「Aは 鉄道」で「Bは 自動車／自家用車／バス」 →1点

(4) 2点

高齢化や人口減による空き家の増加や、買い物等の利便性低下。(1行)

【加点ポイント】

① (人口推移の特徴) 高齢化／人口減 →1点

② (社会課題) 空き家の増加／買い物等の利便性低下／学校の統廃合 →1点